

# ディン・Q・レ展：明日への記憶

2015年7月25日(土)ー10月12日(月・祝) 森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

## 世界で最も活躍するベトナム人アーティスト、待望の日本初個展

森美術館は、2015年7月25日(土)から10月12日(月・祝)まで、ベトナム人アーティスト、ディン・Q・レの日本における初個展となる「ディン・Q・レ展：明日への記憶」を開催します。

ディン・Q・レはカンボジアとの国境付近のハーティエンに生まれ、10歳の時、ポル・ポト派の侵攻を逃れるため、家族とともに渡米しました。写真とメディアアートを学んだ後、ベトナムの伝統的なゴザ編みから着想を得た、写真を裁断してタペストリー状に編む「フォト・ウィービング」シリーズ(1989年～)を発表し、一躍注目されることとなります。また、レは綿密なリサーチとインタビューに基づき、人々が実体験として語る記憶に光を当てます。国際舞台への出世作となった映像インスタレーション作品《農民とヘリコプター》(2006年)では、自作のヘリコプターの開発に挑むベトナム人男性を中心に、ベトナム人と戦争との複雑な関係を巧みに描き出しました。

ベトナム戦争終結から40年、日本にとっては戦後70年の節目を迎えたいま、国家や社会の「公式な」歴史の陰で語られることのなかった市井の人々の名もなき物語を読み直しつつ、アートと社会のより密接な関わりを探ることはきわめて重要な課題ではないでしょうか。本展ではディン・Q・レの作品とユニークな活動を通して、私たちの過去と現在、そして未来について考えます。



《無題(パラマウント)》 2003年  
Cプリント、リネンテープ  
所蔵：Ann and Mel Schaffer Family, New York

### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、町野、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

## ディン・Q・レ

1968年、ベトナム、ハーティエン生まれ。ホーチミン在住。1978年、家族とともにアメリカへ移住。1989年、カリフォルニア大学サンタバーバラ校にて美術学士課程修了、1992年、ニューヨーク視覚芸術学校美術修士課程修了。

主な個展にシャーマン現代美術基金(シドニー、2011年)、ニューヨーク近代美術館(2010年)、タフツ大学アートギャラリー(マサチューセッツ、2009年)、アジア・ソサエティ(ニューヨーク、2005年)など。主な国際展にメディアシティ・ソウル2014(ソウル市立美術館)、ドクメンタ13(カッセル、ドイツ、2012年)、シンガポール・ビエンナーレ(2008年/2006年)、第50回ヴェネチア・ビエンナーレ イタリア館(2003年)など多数。



## 本展のみどころ

### ◆ 森美術館初、東南アジア(ベトナム)出身アーティストの大規模個展

本展は、アジアのアーティストに注目し、主に東アジア出身アーティストの個展を開催してきた森美術館にとって、初めて東南アジア出身アーティストを紹介する大規模個展となります。近年、経済的にも急激な成長途上にあり、アート・マーケットの動向も活発な東南アジアのアーティストのなかでも、特に国際的評価の高いディン・Q・レに焦点を当てます。

### ◆ バラエティに富む、ダイナミックな作品の数々

写真を工芸的に編んでいく「フォト・ウィービング」シリーズなどベトナムの手仕事を取り入れた作品、完成度の高い映像と本物のヘリコプターや舟などを組み合わせたインスタレーションなど、視覚的バラエティに富む、ダイナミックな作品が紹介されます。

### ◆ ていねいな取材とインタビューに基づいて語られる新たな歴史

綿密で、人の深層心理にまで踏み込む独特の取材によって、個人の記憶と物語がドラマティックに生成されます。マス・メディアやハリウッド映画によって流布されたベトナム戦争のイメージとは全く異なる、ベトナム人当事者のこれまで語られることのなかった物語が表出します。

### ◆ 日本のいまを捉える新作

ベトナム戦争のリエナクトメント\*に興じる日本人男性への取材を基に新作映像を制作。新たなベトナム戦争のヴィジョンを捉えるとともに、日本の歴史や記憶、今日の社会状況などについて考えます。

\* リエナクトメント：歴史的出来事を再演する活動

### ◆ 日本の戦後70年、ベトナム戦争終結から40年という節目の年に、歴史を再考・議論する場を提供

2015年という節目の年に、報道写真を通して見るベトナム戦争、ベトナム戦争が日本社会や日米関係に与えた影響、また、今日のベトナムの現代アートシーン、ビジネス・マーケットとしてのベトナムの魅力など、さまざまなテーマでレクチャーやセッションを開催することで、活発な議論の場を生み出します。



《おかえりなさい、サイゴンへ》  
 (「新世紀のベトナム旅行」シリーズより)  
 2005年  
 デジタルプリント  
 Courtesy: Elizabeth Leach Gallery, Portland



《農民とヘリコプター》  
 2006年  
 3チャンネルビデオ、カラー、サウンド、ヘリコプター  
 Collaborating Artists: Hai Quoc Tran, Le Van Danh,  
 Phu-Nam Thuc Ha, Tuan Andrew Nguyen  
 Commissioned by Queensland Gallery of Modern Art, Australia  
 展示風景：「リフレクション：アートに見る世界の今」堂島リバービエンナーレ2009、大阪  
 撮影：福永一夫

## プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、町野、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

## 開催概要

**主催：**森美術館

**企画：**荒木夏実(森美術館キュレーター)

**会場：**森美術館 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53階

**開館時間：**10:00-22:00 | 火 10:00-17:00 \*ただし9/22(火・祝)は22:00まで

\*いずれも入館は閉館時間の30分前まで \*会期中無休

**入館料：**一般1,800円、学生(高校・大学生)1,200円、子供(4歳-中学生)600円、シニア(65歳以上)1,500円

\*表示料金に消費税込 \*本展のチケットで展望台 東京シティビューにも入館可(スカイデッキを除く)

\*スカイデッキへは別途料金がかかります

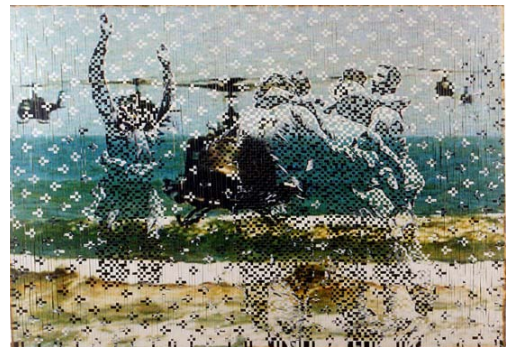
**お問い合わせ：**Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

## 展覧会概要

ディン・Q・レは1968年にカンボジアとの国境付近であるベトナムのハーティエンに生まれ、ポル・ポト派の侵攻を逃れるために10歳の時に家族とともにアメリカに渡りました。カリフォルニア大学サンタバーバラ校とニューヨーク視覚芸術学校で写真とメディア・アートを学んだ後、細かく裁断した写真をタペストリー状に編む「フォト・ウィービング」シリーズ(1989年～)で注目され、2003年にはヴェネチア・ビエンナーレのイタリア館で展示されることとなります。このシリーズで用いられる独特の技法は、幼少期にベトナムで親戚から習ったゴザの編み方に着想を得たもので、作品にはベトナム戦争をはじめ、カンボジアの遺跡、ポル・ポト派による虐殺、ハリウッド映画など多様なモチーフが織り込まれ、作品を見る角度や立ち位置によってその見え方は変化します。

《傷ついた遺伝子》(1998年)というシリーズでは結合双生児をテーマとし、ベトナム戦争中にアメリカ軍が散布した枯葉剤との関連を示唆しています。ホーチミン市内の店舗を使った最初の展示では、レが考案した結合双生児用の服や玩具が商品のように並び、訪れる人々に衝撃を与えました。それはベトナム人が語ろうとしないタブーを破り、議論を促す試みだったのです。

さらに映像を用いた作品《農民とヘリコプター》(2006年)では、自作のヘリコプターの開発に挑むベトナム人男性に焦点を当て、ベトナム戦争の象徴でもあるヘリコプターをめぐるベトナム人と戦争との複雑な関係を巧みに描き出しました。3面の映像と手作りのヘリコプターを組み合わせたインスタレーションは、シンガポール・ビエンナー



《消えない記憶 #10》2000-01年  
Cプリント、リネンテープ 所蔵: Joy of Giving Something, Inc., New York



《消えない記憶 #14》2000-01年  
Cプリント、リネンテープ 個人蔵



《傷ついた遺伝子》1998年  
手編みのこども服、ぬいぐるみ、  
人形(樹脂・プラスチック)、おしゃぶり  
Commissioned by The Gunk Foundation, New York

## プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、町野、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum

〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

レ(2008年)などで評判を呼び、レの名を世界的に知らしめるきっかけとなりました。またドイツ、カッセルの国際展ドクメンタにおける《光と信念：ベトナム戦争からの声とスケッチ》(2012年)では、かつての従軍画家たちによる100点のドローイングの展示とともに、彼らの戦時の青春を生き活きと蘇らせる映像作品を発表しました。

レは徹底した取材を行い、写真、立体、映像などさまざまなメディアを用いて、これまで語られなかった物語に注目し、「公式な」歴史と複雑に絡みあいながら存在する、名もなき市井の人々の個の歴史をすくいあげようとします。どのように歴史が記録され、制度化されるかを観察すると同時に、戦争による物理的な破壊のみならず、しばしば見落とされがちな人々の痛みや喪失の感覚、難民としての心理的葛藤の記憶などに焦点を当て、さらにはどのような状況下においても損なわれることのない人生の輝きを捉えます。そこには、ベトナムとアメリカ両方の文化のはざまに身を置いた経験をもつレならではの、独自の視点が活かされているといえるでしょう。

グローバル化が進み、価値観が多様化する現代の世界において、歴史を読み直し、アートと社会とのより密接な関わりを探ることは、きわめて重要な課題なのではないでしょうか。ベトナム戦争終結から40年、日本にとっては戦後70年でもある節目の年に、今最も活躍するアジアのアーティスト、ディン・Q・レのユニークな作品と活動を通して、本展は語られてこなかった物語に目を向け、私たちの過去と現在、そして未来について考えます。

(「ディン・Q・レ展：明日への記憶」キュレーター／森美術館キュレーター 荒木夏実)



《消去》  
2011年  
シングルチャンネルビデオ、カラー、サウンド、写真、石、  
木製ボートの断片、木製通路、コンピューター、  
スキャナー、ウェブサイト(erasurearchive.net)  
Commissioned by Sherman Contemporary Art  
Foundation, Sydney, 2011  
Supported by Nicholas and Angela Curtis  
展示風景：シャーマン現代美術基金、シドニー、2011年  
撮影：Aron de Souza

最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトのプレス画像ストックより申請、ダウンロードいただけます。  
<https://mam-media.com/jp/press-img>

## プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報：瀧、町野、戸澤

Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum Web: www.mori.art.museum  
〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 森美術館